

プライベート認証局Gléas ホワイトペーパー

Pulse Connect Secure / MobileIronでのPer-App VPN

Ver. 1.0 2019 年 3 月

Copyright by JCCH Security Solution Systems Co., Ltd. All Rights reserved

- JCCH・セキュリティ・ソリューション・システムズ、JS3 およびそれらを含むロゴは日本および他の国における株式会社 JCCH・セキュリティ・ソリューション・システムズの商標または登録商標です。Gléas は株式会社 JCCH・セキュリティ・ソリューション・システムズの商標です。
- その他本文中に記載されている製品名および社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を掲載しています

Copyright by JCCH Security Solution Systems Co., Ltd. All Rights reserved

目次

1. はじ	めに	4
1.1.	本書について	4
1.2.	本書における環境	4
1.3.	本書における構成	5
2. Mob	ileIron での設定	5
2.1.	Per-App VPN 設定	5
2.2.	アプリケーションの配布設定	6
3. PCS	での設定	7
3. PCS 3.1.	での設定 User Roll の設定	7 7
 PCS 3.1. 3.2. 	での設定 User Roll の設定 WSAM Destination の設定	7 7 7
 PCS 3.1. 3.2. iOS ⁻ 	での設定 User Roll の設定 WSAM Destination の設定 での操作	7 7 7 8
 PCS 3.1. 3.2. 4. iOS - 4.1. 	での設定 User Roll の設定 WSAM Destination の設定 での操作 MobileIron への加入	7 7 8 8
 PCS 3.1. 3.2. iOS - 4.1. 4.2. 	での設定 User Roll の設定 WSAM Destination の設定 での操作 MobileIron への加入 Per-App VPN の動作確認	7 7 8 8 9

1. はじめに

1.1. 本書について

本書では、弊社製品「プライベート認証局 Gléas」と、MobileIron社のMDM/EMM 「MobileIron Cloud」を連携させ、デバイスにプッシュ配信した電子証明書を利用して、 Pulse Secure社の「Pulse Connect Secure」 をゲートウェイとしたPer-App VPN(アプ リケーション単位でのVPN)接続をおこなう環境の設定例を記載します。

本書に記載の内容は、弊社の検証環境における動作を確認したものであり、あらゆる環境 での動作を保証するものではありません。弊社製品を用いたシステム構築の一例としてご 活用いただけますようお願いいたします。

弊社では試験用のクライアント証明書の提供も行っております。検証等で必要な場合は、 最終項のお問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

1.2. 本書における環境

本書は、以下の環境で検証をおこなっております。 ● Pulse Secure Pulse Connect Secure (バージョン 9.0R2 Build 63965) ※以後、「PCS」と記載します ● MobileIron Cloud (Platinum バージョン R59) ※以後、「MobileIron」と記載します ● JS3 プライベート認証局Gléas (バージョン 1.16.9) ※以後、「Gléas」と記載します ● Webサーバ: CentOS 7.6.1810 / Apache 2.4.6 ※以後、「イントラサーバ」と記載します。ApacheはOSのパッケージを利用 ● クライアント: Apple iPad (iOS 12.1.1) Pulse Secure (バージョン 7.1.1 78493) / Web@Work (バージョン 2.6.0) ※以後、「iOS」「Pulse Secureアプリ」「Web@Work」と記載します

以下については、本書では説明を割愛します。

 PCSのVPN設定およびクライアント証明書認証の設定
 * PCSでの証明書認証設定について、弊社では以下のURLでドキュメントを公開しています。 https://www.gleas.jp/news/whitepaper/pulse-connect-secure
 Per-App VPN接続時にはパスワードなどのユーザ入力待ちが発生してはならないので、本書ではクライアント証明書認証のみを前提とします

● MobileIronの基本設定およびGléasとの証明書発行連携の設定

※MobileIronとGléasの証明書発行連携の設定について、以下のURLでドキュメントを公開しています https://www.gleas.jp/news/whitepaper/mobileiron

事前にMobileIronで、Connectorの設置、外部認証機関の設定、ID証明書(動的生成)の設定をしておき ます

- iOSのネットワーク設定
- Gléasの基本設定

以上については、各製品のマニュアルをご参照いただくか、各製品を取り扱っている販売 店にお問い合わせください。

1.3. 本書における構成

本書では、以下の構成で検証を行っています。



- 1. iOSでMobileIronへの加入操作をおこなう
- MobileIronはGléasと連携して発行した証明書と、Per-App VPN設定を含むプロ ファイル、Pulse Secureアプリ、Web@WorkをiOSに配布する
- 3. iOSでWeb@Workを起動すると、自動的にPCSへのVPN接続がおこなわれ、イン トラサーバにアクセス可能となる。

2. MobileIron での設定

2.1. Per-App VPN設定

MobileIron の管理画面で、[構成]→[+追加]→[Per-App VPN]と進みます。

● [名前]に任意の名前を入力します。

- [接続の種類]に[PulseSecure]を選択
- [サーバー]に PCS の URL を入力
- [ユーザー認証]に[証明書]を選択
- [認証情報]には Gléas から発行するように設定された ID 証明書(動的生成)の構 成設定名を選択
- [オンデマンド VPN を有効化]にチェック

定		
接続の種類	PulseSecure ¢	
	接続の種類	
サーバー	https://pcs.jcch-sss.local	
	サーバーのホストネームまたはIPアドレス	
アカウント	[デバイスにセット]	
	接続認証のためのユーザーアカウント	
領域	[デバイスにセット]	
	接続即証領域	
役割	[デバイスにセット]	
	接続認証に必要な役割	
ユーザー認証	証明書 ¢	
認証情報	client-cert \$	
	ユーザー提供の証明書はIOSデバイスでのみ利用可能 です。	
	接続認証の認証情報	
ロキシの設定	† 1.	

上記の設定をしたら[次へ]をクリックし、構成を有効化するデバイスを選択し、[完了] をクリックします。

2.2. アプリケーションの配布設定

MobileIron の管理画面で[アプリ]→[+追加]と進み、iOS 用の[Pulse Secure]を検索、追加 します。

続いて[アプリ]→[+追加]と進み、[Web@Work]を選択して[次へ→]をクリックします。



[アプリ委譲]と[配布]の項目は任意で設定します。[アプリ構成]では[デバイスにインスト ール]を[on]にし、[Per-App VPN]で、 [名前]に任意の名前を入力します。 [Per-App VPN をこのアプリで有効化]にチェックを入れ、[Per-App VPN 構成を選択] で、2.1.項で設定した Per-App VPN 設定を指定し、[次ヘ→]、[完了]をクリックします。

🗹 Per-App VPNをこのアプリで有効化	
Per-App VPN PCS	ŧ

- 3. PCS での設定
- 3.1. User Rollの設定

[Users] \rightarrow [User Roles] で今回使用する User Role をクリックして設定を開きます。 [Access features] \rightarrow [Secure Applycation Manager] で[Windows version]を選択し て[Save Changes]をクリックします。

✤ Access features

1	Web	0 Bookmarks Options
1	Files, Windows	0 Bookmarks Options
	Files, UNIX/NFS	0 Bookmarks Options
	Telnet/SSH	0 Sessions Options
1	Secure Application Manager	0 Applications Options
	Windows version	Note: On Windows Mobile, Pulse
	Java version	
	Terminal Services	0 Sessions Options
	Virtual Desktops	0 Sessions
	HTML5 Access	0 Sessions Options
	Meetings	Options
1	VPN Tunneling	Options (includes IKEv2)

Check the features to enable for this user role, and specify any role-based op

3.2. WSAM Destinationの設定

[Users] → [Resource Profiles] → [WSAM Destinations]と進み、[New Profile]をクリ ックします。[Name]に任意の名前を、[Destination]にイントラサーバのドメイン名ある いは IP アドレスと使用ポートを入力して、[Add]をクリックします。



Name:	Destination Profile1
Description:	
WSAM Destinations	WSAM tunnels traffic destined for a specific set of network Delete
	Destination 192.168.30.244 Add

[Save and Continue]をクリックし、[Available Roles]から使用する Role を選択して[Add ->]をクリックし、[Save Changes]をクリックします。

Available Roles:		Selected Roles:
(none)		Users
	Add ->	
	Remove	

- 4. iOS での操作
- 4.1. MobileIronへの加入

iOS で MobileIron に加入すると、MobileIron は Gléas との間で証明書発行がおこなわ れ、少しの時間が経つと PCS への VPN 接続設定やクライアント証明書を含むプロファ イルと、2.2.項で設定したアプリが自動インストールされます。



※ID 証明書(動的生成)の設定で、主体者[CN=]に該当するアカウントが Gléas に存在しない場合は クライアント証明書の発行が行われません

プロファイルは iPad の[設定]アプリで[一般] > [プロファイルとデバイス管理]と進み、 [デバイスマネージャ]という名前でインストールされ、タップすることで内容を確認で きます。



またその状態で Pulse Secure アプリを起動すると、[アプリごとの]欄で Per-App VPN が追加されていることがわかります。

アプリ VPN 毎	
アプリ VPN 毎 タップして詳細を非表示	
VPN は特定のアプリケーション用にのみ指定されています	
com.apple.mobilesafari	(i) >

4.2. Per-App VPNの動作確認

iOS で Web@Work を起動すると、自動的に VPN 接続がおこなわれます。 接続時には iOS 画面の右上に VPN マークが表示されます。

 MobileIron Go 	15:26	3月5日(火)	হ জ্য 85% 🔲
③ 無題		×	+
	E	💮 アドレスを入力	Ċ \$

イントラサーバへアクセスできるようになっています。

Web@Work を閉じるとVPN マークの表示は消えます。同じ URL に対して Safari などの他のブラウザでアクセスしても、VPN に接続できないため、エラーとなります。

5. 問い合わせ

■Pulse Connect Secureに関するお問い合わせ先

パルスセキュアジャパン株式会社

Tel: 03-6809-6836

Mail: info_jp@pulsesecure.net

■Gléasに関するお問い合わせ先

株式会社JCCH・セキュリティ・ソリューション・システムズ

Tel: 050-3821-2195

Mail: sales@jcch-sss.com